



# 人間ロータリークラブ

## Weekly Report

2012-2013 RI会長：田中 作次  
 RI第2570地区ガバナー：鈴木 秀憲  
 会長：吉永 章子 幹事：齋藤 栄作  
 例会日：木曜日 12:30-13:30  
 例会場：丸広百貨店入間店6F バンケット・ホール  
 Tel.04-2963-1111

会報委員長：宅見 允  
 当番：忽滑谷 明  
 事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイッ斎竹101号  
 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788  
 Email: jruma-rc@jupiter.plata.or.jp

第24号 2740回例会 2012年12月20日(木)

### ビジター・ゲスト

本庄南ロータリークラブ 村田 貴紀 様

### 会長の時間

### 吉永章子会長

もとロータリアンでいらした社会保険労務士の木村良雄様が肺炎の為、今朝ご逝去されました。一分間の黙祷を捧げさせていただきます。黙祷

13日の例会は名誉会員の木下博様ご夫妻もご参加頂き、ロータリアン家族68名が一同に会しての楽しいクリスマス例会でした。又、12/18は入間南クラブでも開催され会長、幹事、事務局はご招待を受け田中新市長と共に列席させていただきました。両クラブともご家族様への感謝を込めてのイベントを恙無く終了し安堵致しています。

今、頭にこびり付き胸に突きささるものがあります。それは会員増強と退会防止です。RI 理事会は2015年6月末までに会員数130万に増強する事を決議しました。今年度RI 会長田中作次氏は日本に於いても率先して実現させる責務があると今年度末までには、10万人を達成させたいとの由を強調されています。そこで「元気なクラブ」を目指し、会員増強の目標をたてSAKUJI大作戦(ロータリーの友12月号p40参照)をスタートさせました。2014~15年度RI 会長ノミニー黄其光(ゲイリー・ホアン)氏はロータリーのビジョンとして会員数130万に増強する事にして会員増強・退会防止、再入会等を推進する事を考慮されています。クラブ単位としても会員数は必要不可欠です。ロータリー月間では8月が会員増強と拡大が強調されています。クラブ奉仕部門高柳増強委員長を卓話にお招きしてご指導頂き、又、リストアップされた会員候補者の下へ担当者が伺わせて頂きましたが未だ良い結果が得られていません。そこで入間クラブ独自のセカンド増強月間を来年の1月と2月に決めました。増強意識を高め可能性を求めて行動して行きたいと思えます。近日中に集会を開き、具体化しますので全員で共に歩み使命として頂きたいと切望します。

### 退会挨拶

### 杉山定太郎会員



今日はチャーターメンバーとして入会、50有余年在籍した入間クラブでの最後の出席となりました。来年の四月に102歳となり、まだまだ心身ともに元気ではありますが、最近はロータリーの三大義務である

「出席」を満足に果たせず、ロータリーの奉仕活動もご一緒できなくなりました。多くの諸先輩会員の皆さんの努力により会員増強の苦勞、好不景気などの幾多の困難をも乗り越え、今の素晴らしいクラブを築いてこれました。振り返ってみますと実に万感迫る思いがあります。

私の退会にあたって、皆さんから名誉会員として、誠に身に余る有り難いご処遇のお気遣いを頂き心よりお礼申し上げます。わが友人の皆さんのご多幸と、愛して止まない入間ロータリークラブの益々のご発展を祈念し、退会の挨拶と致します。

### 幹事報告

### 齋藤栄作幹事

1. 1/8 入間市表彰式並びに新年賀詞交歓会
2. 1/9 第6回会長幹事会 狭山東武ホテル
3. 1/10 入間基地賀詞交歓会
4. 1/11 入間市商工会会員交流会賀詞交歓会
5. 1/17 入間青年会議所賀詞交歓会
6. 1/19 クラブ奉仕部門セミナー「公共イメージ」  
第2回新世代部門セミナー
7. RLIの受講申し込み(1/11迄に浅田様へ返答)
8. 齋藤金作会員取材記事がガバナー月信2月号に掲載されます。
9. 2014-15年度RI 会長に台北ロータリークラブ会員の黄其光(ゲイリー・ホアン)氏が選出され10月1日に会長ノミニーに就任します。
10. 2013年リスボン国際大会・鈴木ガバナーズナイトのご案内が来ました。
11. 入間リトルシニア野球会より野球教室兼硬式野球体験会後援(3万円)の御礼が参りました。
12. サクセスジャパン作戦について再依頼

## 委員長報告

### 親睦委員会

### 晝間和弘委員長

クリスマス例会には大勢のご参加ありがとうございました。新年会も宜しく願いいたします。

### プログラム委員会

### 繁田光委員長

1月10日の新年例会でのロータリー美術館に多くの出品のご協力宜しくお願いします。

### 国際奉仕委員会

### 忽滑谷明委員長

元米山奨学生のコチャワン・パッターマさんが日本人の方と結婚され、9月にお子さんが生まれるとの事です。

### 友野政彦会長エレクト

12/12 セレス所沢にて中井ガバナーエレクトと地区内の会長エレクトとの話し合いがありました。(52クラブ中18クラブ参加)内容は中井エレクトの方針説明と質疑応答でした。又 PETS・地区協・地区大会の日時が発表されています。

### 当選お礼

### 大塚拓会員



皆様の絶大なるご支援により衆議院議員に当選できありがとうございました。入間クラブの皆様の暖かさに触れ、私も入間の地区発展に益々努力していく所存でございます。

### <ニコニコBOX>

### 細淵克則 S A A

杉山定太郎君～お世話になりました。岩崎茂君～杉山会員長い間ご指導頂きありがとうございました。吉永章子君～村田様ようこそ、加藤さん写真ありがとう。後藤賢治君～大塚さん当選おめでとう。山根宏夫君～長年仲の良かった木村良雄元会員が今朝亡くなられご冥福お祈りいたします。細淵克則君～R財団村田様ようこそ入間クラブへ。石川嘉彦君、齋藤金作君、齋藤福太郎君、大野賢次君、平岡達也君、山根宏夫君、撰田順一君、西山祐三君、友野政彦君、忽滑谷明君、粕谷康彦君、後藤賢治君、吉沢誠十君、宮崎正文君、間野尚君、豊田義継君～加藤さん写真ありがとう。

本日¥46,000

累計¥668,544

### <出席報告>

### 新井格出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	30名	81.1%	84.2%

事前欠席連絡 4名

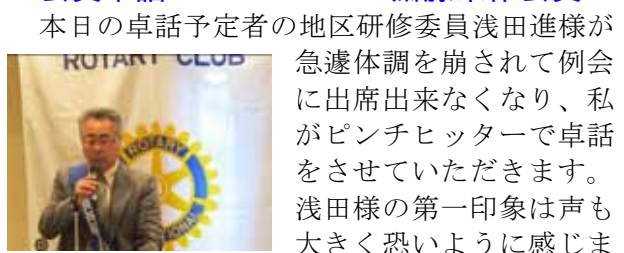
### 回覧、配布物

- ① 2013年規定審議会提出立法案一覧表
- ② 1/24 新年会出欠表
- ③ ハイライトよねやま153
- ④ バギオ基金のご案内 2012
- ⑤ 野球教室後援お礼と星野智樹投手サインボールと色紙
- ⑥ ロータリー財団海外派遣奨学生募集 2013-2014
- ⑦ RI2012年度 RLI 開催に伴う受講者派遣依頼
- ⑧ 2013年リスボン国際大会ガバナーズナイト案内
- ⑨ RI2570 地区ニュース&友情交換ビデオコンテスト
- ⑩ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑪ 週報 22, 23 合併号



## ■ 会員卓話 ■

### 齋藤栄作会員



本日の卓話予定者の地区研修委員浅田進様が急遽体調を崩されて例会に出席出来なくなり、私がピンチヒッターで卓話をさせていただきます。浅田様の第一印象は声も大きく恐いように感じますが大変後輩の面倒見が良い方で、又、源流の会の田中毅パストガバナーの側近としてアーサー・フレデリック・シェルトンの書物を翻訳し我々に紹介する事によりロータリーの本質を深く理解するきっかけを投げかけておられます。地区のRLI講習会も中心になってやっておられる事にも浅田様のロータリーについての深い熱意を感じます。

さて、私もこの度3回のRLIの講座を受講し終了致しました。過去2年間地区の社会奉仕委員会に出させていただいた経験も合わせて考えますと国際ロータリーが将来に向けて正に大きく変化する時期が訪れていることを予感しています。

グローバル補助金=未来の夢計画がその一つです。その目的は世界で良いことをする事です。とりわけ奨励されているのはロータリーの重点分野です。6つの重点分野にのみ補助金が使われるべきであるという考え方です。

『1. 平和と紛争予防・解決 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 基本的教育と識字率の向上 6. 経済と地域社会の発展』これらを実現してゆくために補助金を使って行こうという事です。又、これらが持続可能なプロジェクトであって欲しいという事でもあります。

持続可能なプロジェクトとは「ロータリーの資金全てを投入した後も末永く世界に恩恵をもたらすプロジェクトを指しています。最たる例はポリオの撲滅運動、ポリオプラスです。

RIは3つの戦略計画も合わせて発表しています。①クラブのサポートと強化②人道的奉仕の重点化と増加③公共的イメージと認知度の向上

未来の夢計画を実現してゆくための大切な戦略計画でもあると感じます。

クラブ内で親睦と物質的相互援助で始まった「クラブ奉仕」、ロータリーを続けてゆくためには職業奉仕が大切です。自らの職業基盤がしっかりすれば、社会にも貢献でき同業者にも社会奉仕を呼びかけやすくなります。そこから国際奉仕・新世代奉仕と進んで行くのだと思います。アーサー・フレデリック・シェルトンは「商売に成功するには奉仕の理念に基づいて継続的に利益をもたらす顧客を確保する事である」と語っています。正に商売の原点であるべき考え方です。同様に54年もの歴史のある入間ロータリーであるからこそこれからの入間ロータリーは我々にとってどのようにあるべきかを考える時点に来ているのかも知れません。激動する時代だからこそ原点にもどって見つめ直す必要性を感じています。